

## 研究報告

B4 小谷

## ● 高速偏光分解 SHG 観察 (11/1~4)

- ・ 目的 : 加齢によるコラーゲン配向の変化を *in vivo* で測定する

- ・ 実験装置

Cr-Fo 系

## ● 実験条件

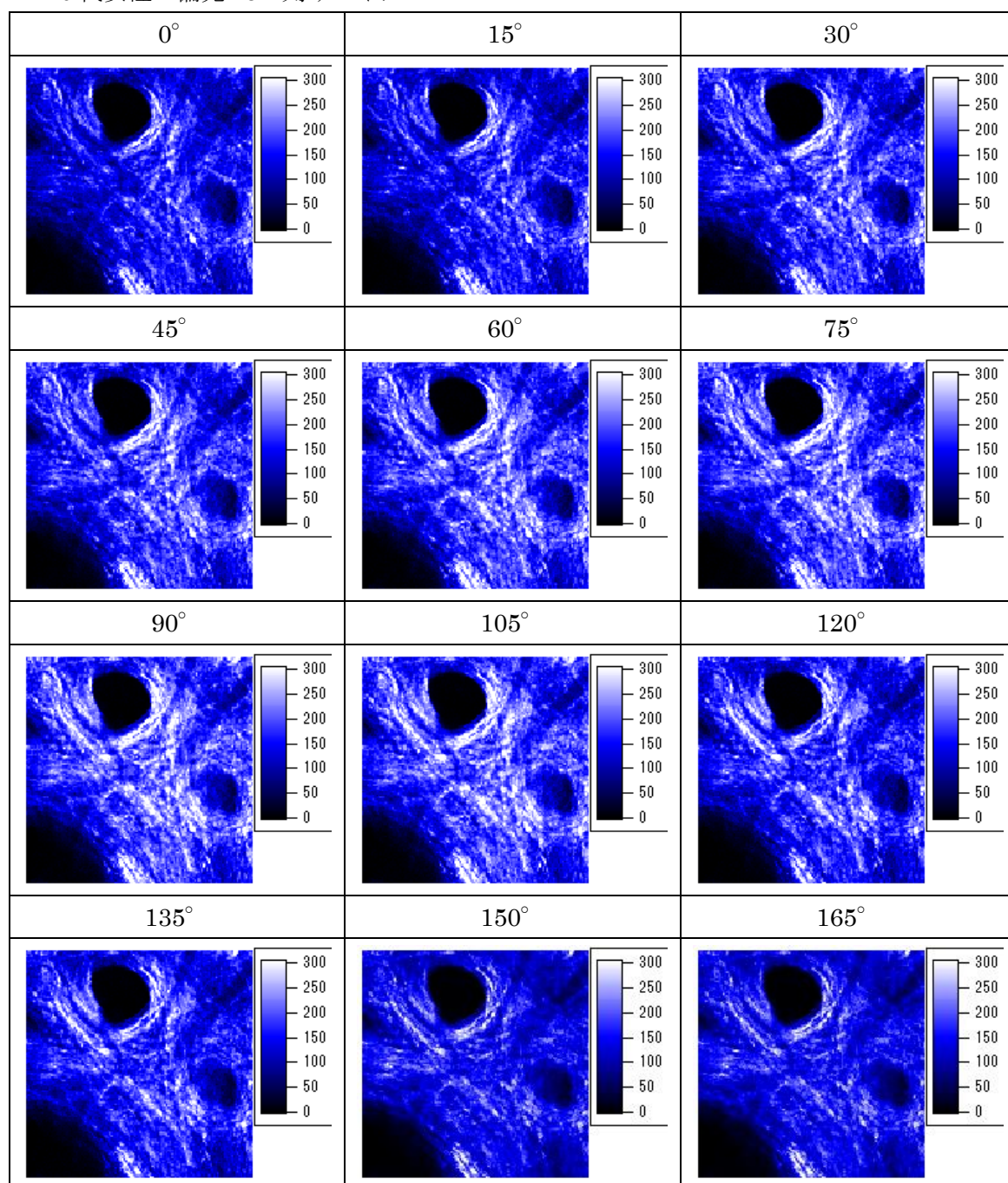
計測時間 10 秒

対物レンズ後のパワー : 30mW

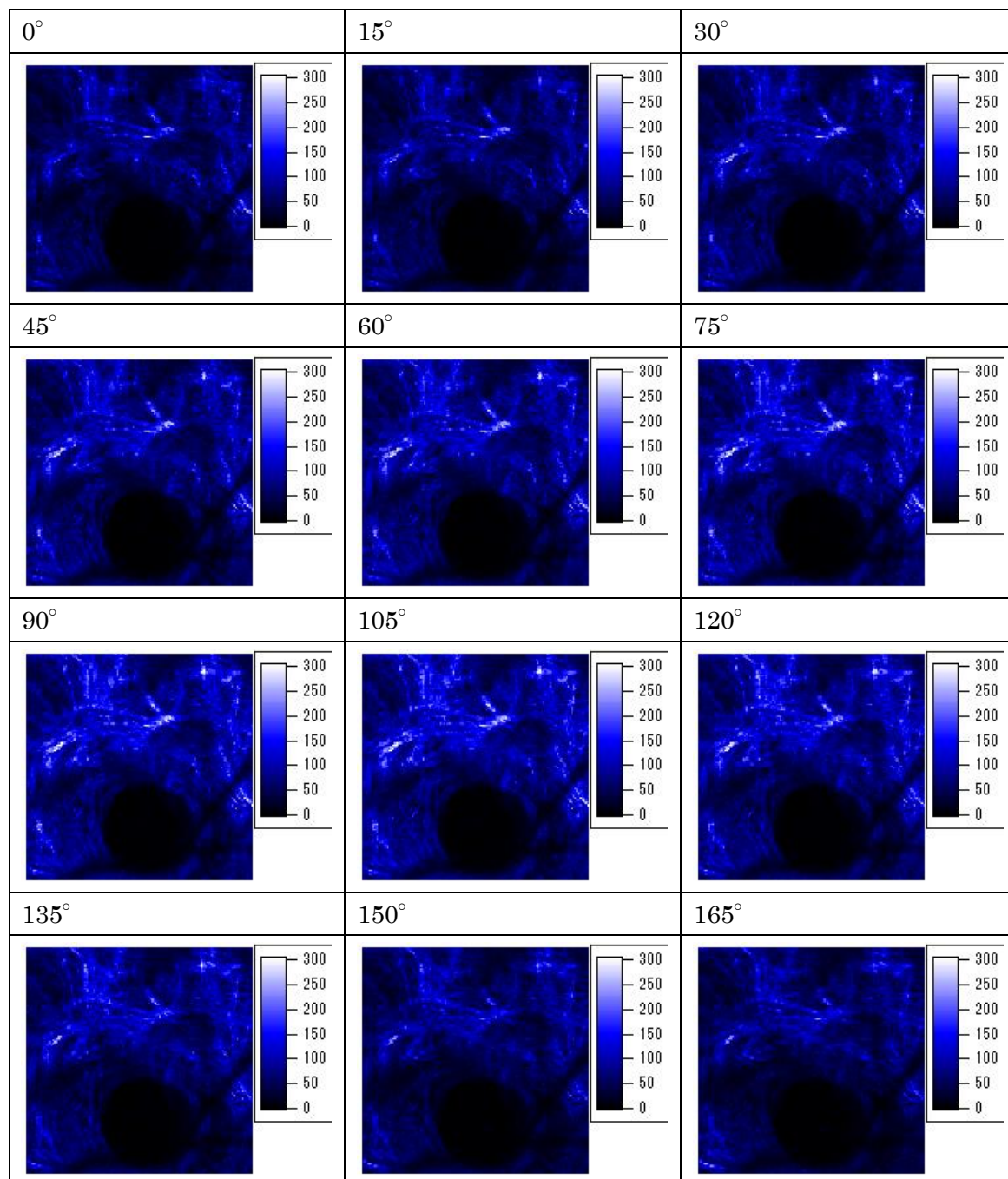
	30° 刻み 大面積(4×4)	15° 刻み
X	14Hz	0.1Hz
Y	14Hz	0.1Hz
Clock	11760Hz	23520Hz
EOM	1960Hz	1960Hz
X(pixel)	140(128)	840(768)
Y(pixel)	140(128)	1680(1536)

## ● 実験結果

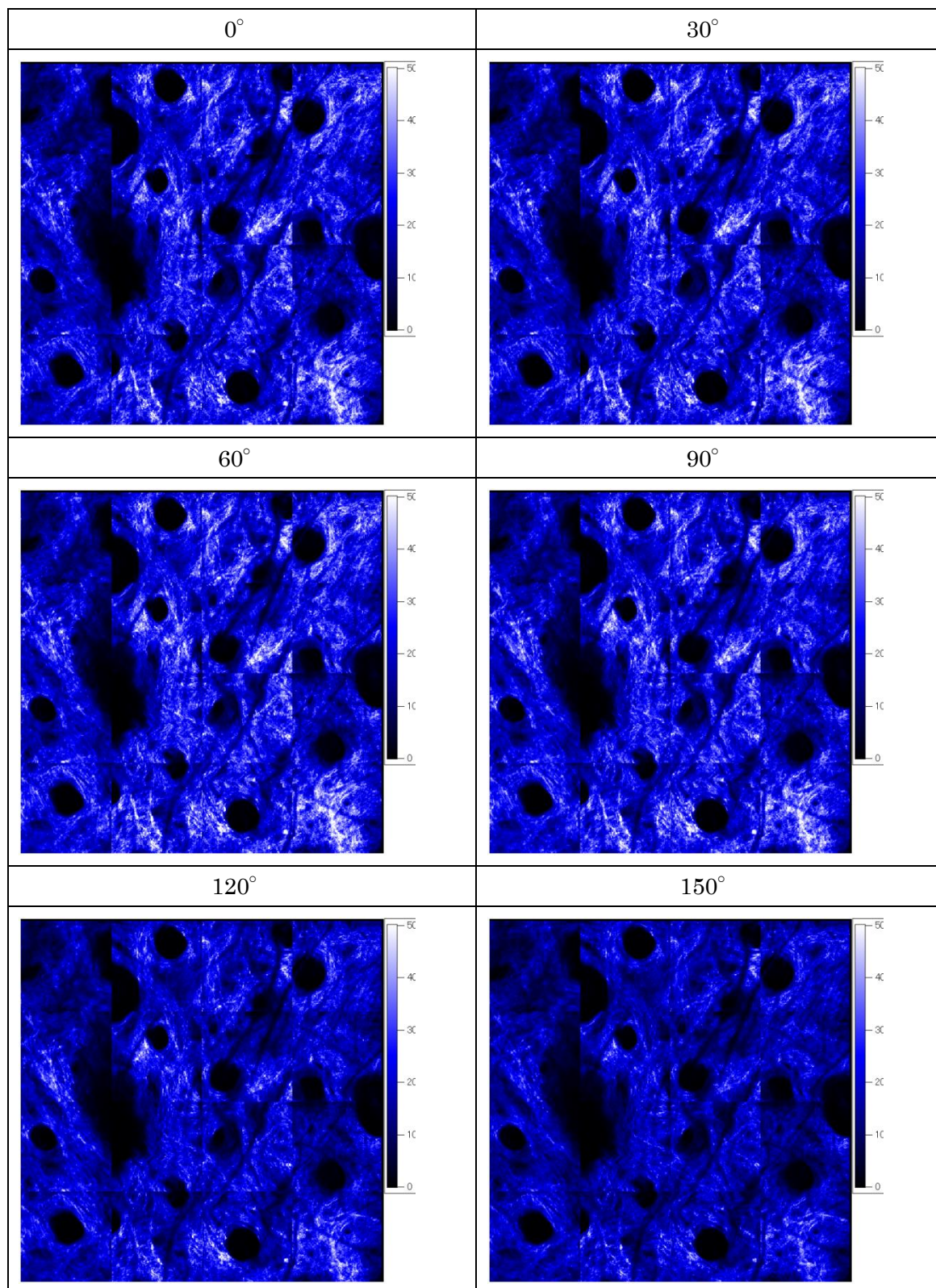
・20代女性の偏光15°刻みのイメージ



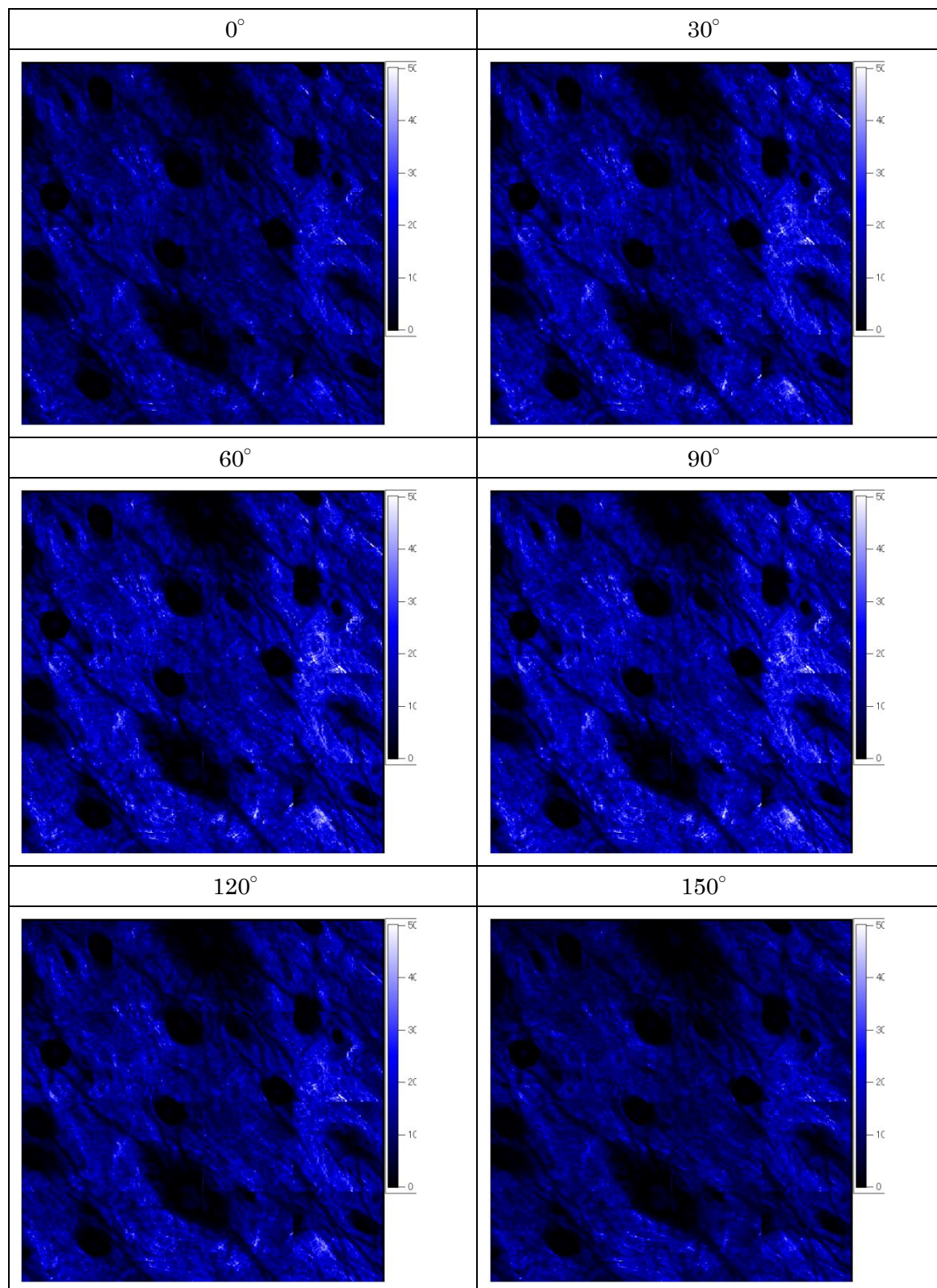
・60代女性の偏光15°刻みのイメージ



・20代女性の偏光 30° 刻みの大面積イメージ



・60代女性の偏光 30° 刻みの大面積イメージ



- まとめ

20代のイメージでは60代のイメージよりコラーゲンが見えている。

全体的にイメージ中央がよく光っている。中央部分だけパワーが上がって、ほかの部分ではパワーが低くなっている可能性がある。今後、配向性がランダムであるコラーゲンのパウダーを用いて、きちんと配向性がとれているか調べる。